

プロジェクトマネジメントに効くケーススタディ①

「人が信じようと信じまいと君が見たものは信じればいい」 黒板五郎

課題

下記の状況下において、導き出された「事前に手を打つべき二つのリスク」についてどのような手を事前に打つべきかチームで考えてください。

あなたは機械メーカーの調達部のマネージャーです。今期より複数顧客のそれぞれの製品において、利益向上のため原価低減を行うプロジェクトのプロジェクトマネージャーに任命されています。プロジェクトの範囲は非常に広く、特性は三つあります。

- 10 社の顧客に対して、各社の売り上げ上位 10 機種を対象とし、計 100 機種を原価低減するプロジェクトであること。
- 2 年をかけて段階的に原価低減を行っていくという長期プロジェクトであること。
- 対象機種の構成部品のサプライヤーは約 300 社であること。

これらの特性を持つプロジェクトに対して、あなたは調達部だけではなく全社を統括するプロジェクトマネージャーとして成功を求められています。各部署から集められたメンバーは、プロジェクトのキックオフ前に三つの特性を鑑み、通常のプロジェクト管理ではカバーできないものとして、どのような要素があるか検討した。

検討の結果、事前に手を打つべき二つのリスクを導き出した。

- 複数のステークホルダーにて、プロジェクトが実行されることにより、目標に対するブレが発生するリスク
- 2 年間という長期に渡るプロジェクトにおいて、時間の経過と共に目標自体が希薄化していくリスク

ルール・タイムスケジュール

最初にタイムキーパー、ファシリテーター、発表者を各グループ決めてください。

発表形式は自由。

なお、発表者は購買ネットワーク会標準ルールに従い、参加回数が最も少ない方としてください。

20:10～20:40 チーム討議

20:40～20:50 発表 各チーム発表 1 分、Q&A 1 分

(全チームの発表は時間の都合上難しいため、発表希望の先着 5 チームのみ発表)

20:50～21:00 解説